

ピエウロウ
夫人の

フレールベル追懷錄

S
K
生
譯

六、グスタフ、キューネ博士の來訪

此の夏中リーベンスタインを訪れた多くの人々は（中には高貴顯名の人々もありましたが）皆々リエントルの「何時も變らぬ子供のお友達」を見知り聞知るやうになりました、是等の人々の中に當時「オイローバ」の編輯を主宰してゐた賣れつ兒の詩人兼著作家なるグスタフ、キューネ博士がありました。博士は偽りなき溫き感情を以て私達の小さいサークルに混つて來ました、而して屢々晴々しい諧謔を以て私達のサークルを華やかなものとししました。

フレールベルと彼の努力とは當時噂によつてのみ博士に知られて居りました、而して私が初めてマリエンタルに行つてみませんかと誘ふと彼はリー

ベンスタインへは新しい事を研究に來たのではな
くたゞ快き無爲と自然の鑑賞とに耽らうと思つて
來たのであると言ひました。

リーベンスタイン溫泉の入浴者を誘うて或る新
方法を作るといふやうな眞面目な目的に眼を轉せ
しむることは常に困難でありました。何故ならば
他へ散歩に行く方が多くの人には興味が多かつた
からであります、又溫泉地等では人々はすべて智
的的努力を避けたがるものであるからです。

けれども或る日の午后、數人の淑女と紳士がア
ルテンスタインの「モルゲンツール」を訪ひ更に
その歸途にマリエンタルに立寄る計畫を樹てまし
た。キューネ博士はこの最後の豫定行動を知らず

にこの一行に加りました、而して歩き乍ら私が不圖フレーベルを訪れることを話すと博士は「世界請戻しの萬能藥」に對する私の熱心に就て私をからかひ始めました、而してフレーベルの方法が含み能ふるすべての可能便宜はベスタロツチの思想と方法とにその基礎を有すること教育の改善に就てはベスタロツチが既に充分之を述べてゐること及びそれ故ベスタロツチの定めた基礎の上に建築して行く外何も爲すべきことのないこと等を附け加へました。

博士は言ひました。「極く幼い時から施す自然に適合した教育、觀察の上に置かれたるすべての教育の基礎、身體の勞働と學業との連結、すべての技巧的なる支持若くは兒童の自然性に關係なく正反對なる事柄の強制執行の廢止、是等より以上の何事をフレーベルが望み得ませうぞ、是等は皆ベスタロツチが既に提供してくれました」

私は答へて言ひました。「フレーベルの方法はベ

スタロツチのそれと調和するのみでなくその中の善い事正しい事はすべて自分の方へ取込むのです而かもそれだけではありません、フレーベルの方法は提供すべき或る新しい異つたものを持つて居ります。尙又私は私がフレーベルの體系をもベスタロツチの體系をも「世界請戻しの萬能藥」として見ることが出来ないことを附加しておきたいと思ひます。何故ならば私はそれが以前在つたと同じやうに今でも在るといふことをよく知つて居るからであります。多くの而して種々の槓杆が時代の要求する改良を齎すには必要であります、それから反語アイロニーを言つて居るのではありません。

私はベスタロツチとフレーベルは異つた分野に於て人類の改善に努力して居るものであつて二人とも同じやうに重要であると考へます。二人によつて發表せられた概則は既に先輩の賞讃を博し且又多くの思想家によつて正しきものとして承認されました、けれども主要なる點は其等の原理の完

全なる適用といふことに尙残つて居るのであります。これに對つて必要にして且つ充分なる實際的手段は新しい豫言者によつて量に依り經驗を通してのみ見出さるゝでありませう。

「極く幼き時から始める最初の教育に關してのフレーベルの考はベスタロツチの考とは全然異つたものであります。フレーベルの考は兒童の天性の新しい理論の上に基礎を有して居ります、假令それがベスタロツチのと反對でないにせよ。けれどもその考を實行すべき實際的手段はフレーベルによつて提出されたものであつてベスタロツチによつてはありません。何故ならばフレーベルによつて母親の本能と教育的直覺とが先づ智的な活動に高められたのでありましてこれに對する正しき手段は即ちこの實際的手段なのであります。」

「而して若極く幼き時に施された教育が實際その後のすべての階段に於ける教育に對して基礎を置くものであるとしたならばこれは一つの重要な

要因であります。教育の對稱及び教育の手段が母親及び教師によつて智的に認知され適用されない限りは搖籃に於ける教育など、云ふものゝあり得る譯がありません。そうでなければたいこれまでのやうに身體の注意があるばかりであります、けれども教育は心靈をも取扱はねばなりません、フレーベルは無意識から漸々に覺めて來る兒童の心靈の正しい取扱方を教へました、而して彼は自ら之を行ふことが出來ました、何故ならば彼は幼童の無意識状態と成熟した心の有意識との間の關係を明瞭に理解してゐたからであります。

「それはそれとして他の方面に於ても彼はベスタロツチ以上に出て居ります。ベスタロツチは觀察の原理を説きましたでしたがフレーベルは行爲と觀察とを結び附けます、それで彼は兒童をしてその觀察を客觀的に確實に表現させます、模倣ばかりに頼らずに自由に似せて描くといふことを獎勵したのであります、これは創意的活動の準備となるので

あります、斯る方法に依る時に於てのみ初めてベストタロツチの要求する活動力と智識との連結が充分に實現せらるゝのであります。

「教育の手段としての勞働の採用はベストタロツチによつて機械的の仕事と土地の耕耘とに限られて居りました。フレーベルの方法は單に機械的なることのすべてを避けると共にあらゆる生産的の仕事に於て四肢及び諸感覺を規則正しく働かせ、それから又智力と能力との訓練をこれに結合させる手段を提供します。兒童はそれですから充分に生産的活動にまで高められます。而して美術的概念は生得の能力がそれに對して備つてゐるものに對して準備せらるゝのでありませう。

「著述家の生産的仕事に極印してそれを自己の精神財産とする智的有意識は勞働階級の地位の日に日に高められて行く今日人々の教育（社會問題の大部分は茲に係つてゐます）に對して大なる重要を保つものでありますまいか」

キエーネ博士は言ひました。「私は未だフレーベルの方法の特質がこの點に關して如何程の價値を有してゐるかといふことを判斷するに足る程の充分な智識を彼の方法に對して有しては居りませんけれどもあなたの仰有つたことは私をしてそれをもつと詳しく調べるやうに刺戟しました、けれども私達は一般の救拯を持來さんとする方法を必要とするものではありません、世間はこれまでもう澤山の新しい方法と理想とを見せられてゐます、而かも尙且大體に於て今時の昔時に優ること幾許でありませうぞ。」

私は答へて言ひました。「それには私は異論がありません、世界及びその中に住む人は常に變化しつゝあります。而してそれは假令遅々たるものであるにもせよ兎に角極く初期の野蠻から開化の現狀にまで變化して來たのであります、而してこれは或る部分は尠くとも新しい方法と新しい思想とに負はなければなりません。」

博士は言ひました。「さうです、けれども教養せられたる野蠻が尙残つて居ります。が兎も角私は御承知の通りあまり物事を拒み續けることが出来ない性質たです、而してあなたを満足させて上げませう、私もフレーベルこ興味を持つことにませう」

私は言ひました。「フレーベルとペスタロツチの教育改良に關する價値を評價するならば教育の本性の變形即ちそれによる理解力の練磨の發達は主としてペスタロツチに負うて居ること同時にフレーベルは特に教育を道德的教養及び人格の發達を含めたる一全體として取上げたといふことが言はるゝでありませう。フレーベルの教育思想は發見し難き一つの緊要なる點に繋つて居ります。而してこれは時が經つに従つて理解もされ價値をも認められるに至るでありませう。

「けれどもこの二人を秤にかけてみる必要はありません、二人は各の特徴を持つて居るからであります。二人は高く優れた人でありました、自然に

忠實で罕に見る獨創的な人でありました、而して二人は直接の地盤、直覺の地盤から育つた教養を共有して居りました、而して技巧的若くは省察的な何物をも有して居りませんでした、これが眞實の保證の一つであります」。

私達は今やマリエンタルの門に到着しました、而して幼稚園で歌つて居る兒童等の聲を聞きました、フレーベルはよく午後には遊戯を監督しながら教育を施すべく兒童等と共に遊んで居ります、私達が入つて行つた時フレーベルは兒童の群れの眞中に居りました。

「それではこれがその豫言者の家ですね」と一行の中の或る人が言ひました、その時私達はマリエンタルの家の大きな廣庭を入つて行つたのであります、マリエンタルの家は後へ寄つて建てられておりました、窓の十一ある前面を持つた二階作りで城といふよりも農夫の住家と言ひたい外見を示して居りました、けれども青々とした大木に取巻か

れて居るので愉快げに家庭的温情が漲つて居る様に見えました。

家の入口の前の大きな方形地に（これに登るべく石段が置かれてあります）芝生が出来てゐて茲に灌木が植つて居ります、而して一方の側には立派な菩提樹の古木があつて花時にはゆかしい香を四方へ漂はせます。この菩提樹の下蔭には腰掛やテーブルが据ゑられてあります、天氣のいゝ夏の日にはフレーベルは此所で彼の朝の授業を與へるのであります。

私達が入つて行つた時にフレーベルは彼の生徒や小さい兒童の群れに圍まれて廣庭の真中に立つて居りました、生徒や兒童等は「リツワル、スレツド、リツツル、スレツド、ライク、エ、リツワル、ホイール」の遊戯の時にするやうにフレーベルを真中にして環を作つてゐたのですが丁度その時解散しやうとする所でありました、上氣した顔と幸福に輝いた眼とを以てフレーベルは一行を迎

へました、而して室内に入る前に何か他の遊戯を所望しないかとすぐに尋ねました、一同は悉く希望しました、フレーベルは子供らしい悦びを以て再び兒童の四肢の第一訓練たるそれらの巧な遊戯のいくらかを指揮しました。フレーベルは是等の遊戯を兒童や大人の傳習的の遊戯から彼の教育理想に適合するやうに又一方には兒童をして自然と人との生活から戲曲的に事實を表現させるやうに其粗漫な要素を取除いて模寫したのであります。

フレーベルは觀覽者に遊戯の説明をしながら言ひました。「すべて是等の遊戯はその要素に於て兒童の本能から發生したのであります、けれどもその教育上の目的に達するには遊戯はその意味と狙ひ所とに於て意識的に理解されなければなりません、人々は兒童が遊んで居る時にはたゞ慰みを求めて遊んでゐるのであると考へます、しかしこれは大間違であります。遊戯は人間の心の發達の第一の手段であります、外界と親密にならうとし

事物から獨創的の經驗を集めやうとし身心の力を練習させやうとする人間の心の第一の努力であります。兒童は勿論遊戯の中に含まれてゐる目的なぞを知る筈がありません、而して最初の内は兒童は周圍の眞似をして遊戯を行ふ時達せらるべき如何なる結果に就ても何も知りません、けれども兒童は自己の本性を表現します、而してこれがその遊戯的活動に於ける人間性であります、遊戯の發達が進めば進む程人間の運動（人類のすべての文化はこれから發生します）として私達の知つてゐる諸種の運動が益々有意義になつて行きます。

「けれどもそれは是等の運動が妨げられず誤られずに表現せしめられ、兒童の本性が曲げられ邪路に惹き入れられなかつた時にかざるのであります。獸的本能は導かれずに目的に達しますが、人間の本能は自由な運動によつて導かれることを必要とします、この指揮は兒童の盲目な自然的感情の種々なる活動によつて達せらるべき目的を知つて居

る者によつてのみ與へられます、合理的、意識的の指揮がなければ兒童の活動はそれが運命づけられた生涯の使命に對して準備をせず何の甲斐もないたゞの遊び戯れとなつて了ふのであります」

一人の友が言ひました。「大人がそのやうに絶えず指揮を與へてゐるとなると兒童の遊戯からその子供らしい無邪氣アイトレホエが失はれてしまひはしますまいかと私には思はれます」

フレーベルは言ひました。「絶えず指揮をするのではありません、兒童は一日の中の大部分を自分で自由に遊ぶやうになつて居ります、氣の置ける監督などがあつてはいけません、けれども幼稚園に於ては本兒童は當に本性によつて望まれる目的に達するやうな即ち兒童の發達に役立つやうな方法に於て彼等の遊戯を演ずるやうに指揮されま

す、園丁が植木を保護し、蒔込み灌水し能ふかぎりの注意を施すといふことはその植木の成長を妨げることになるでありませんか、高等動物はその

仔等に自己保存のために彼等が必要とする諸種の活動を教へないでありますか、例へば親鳥はその仔等に如何に熱心にその第一の飛揚を教へるでありませんか、子どもが幼ければ幼い程、發達しなければ發達しない程彼等は注意を要し支持を要するのであります、人間の子供の弱い本能はすべての他の動物よりも一番これを必要とするのであります。私達は私達が自然の所産に何の注意も加へずに發生せしむる時に於てのみ自然に従ひ自然に忠實なのでありますか。注意しない時には植木でさへ延び過ぎたり野生のものと同じになつて了つたりします。すべての自然はそのすべての階段とすべての分界に於て教養さるべく運命づけられて居るものであります、けれども教養は自然に反するものであつてはなりません、否々それは自然の秩序に従はねばなりません、自然の基礎と自然の目的とを取入れねばなりません、自然の法則を認めなければなりません、而して自然を

その標準として遵奉しなければなりません、さもなければそれは誤れる教養となつて了ふであります。

「人間の教養は意識的であるべき筈でありますがこれまで常に意識的にのみ施されて來たとはかぎりません。人間の教育は目標を要します、私は私がこの目標を自然並びに智的世界の兩者に於て支配權を有する發達の一般的法則の中に發見し得たと思つて居ります。法則を守る指揮がなければ本當の自由發達はありません、自由の誤解された思想が法則に罪を問ふやうになつたら國民生活がどんなものになるかといふことは説かずして明かでありませう」(この項未完)